

呪い感染

テーブルトークRPG

シナリオ

ひえだこうすけ
文 ■ 裨田浩介

誘われるように通ったトンネルで、
唐突に響くカーナビの音声案内。
——この先、直進です。
突然、死に向かつて暴走する車。
からくも事故を免れるが、以後、
何度も事故に見舞われそうになる。
白い服の女が誘う死から逃れろ！

シナリオ『この先、直進です』

概要

PCたちは交通事故で入院した友人のお見舞いに訪れた病院で、友人を見つめる白い服の女の霊を目撃します。友人の妹も同じ霊を見ており、その霊が兄をあの世に連れて行くこととしているのではないかと相談を受けます。

その帰り道、PCたちが乗った車は誘われるように友人が事故を起こしたトンネルへとやってきます。そこで突然、車が不具合を起こして急カーブへと突っ込みそうになりますが、からくも事故を免れます。

それ以後、PCたちは白い服の女の霊につきまとわれるようになり、何度も不慮の事故に見舞われそうになります。

PCたちは白い服の女の霊が誘う死から生き延びることができるでしょうか？

登場NPC

今井颯介

年齢：18～22歳 性別：男性

PCたちの友人の大学生です。長身で整った顔立ちの好青年で、両親と妹の4人暮らしです。2週間前に交通事故を起こして意識不明の重体で入院しています。年齢はPCたちに合わせて決定してください。

倉橋恵

年齢：18～22歳 性別：女性

颯介の恋人で、半年前から交際しています。颯介とは同じ高校の同級生ですが、現在は女子大に通っています。長い黒髪の落ち着いた雰囲気的女性で、白を基調とした服を好んで着ています。颯介の車に同乗して交通事故で亡くなっています。年齢は颯介と同じです。

今井唯花

年齢：16歳 性別：女性

颯介の妹で、茶色みを帯びたロングボブの髪型の明るく社

交的な高校生です。ややブラコン気味で、兄の恋人である恵を快くは思っていません。颯介のことは「お兄ちゃん」と呼びます。なお、恵とは面識はありません。

参加者とPC

このシナリオはGM1名、PC最小2体～最大4体に対応しています。GMはPLにサンプルPCを使用させるか、オリジナルのPCを作成させるかを決定してください。PCの〔呪印〕数が2画以上の場合、《正体》を増やしてください。

〔場所表〕

このシナリオは、〔場所表「都市」〕を使用します。

〈なにか〉の正体

このシナリオに登場する〈なにか〉は、旧蟬賀トンネルのカーブで事故死した者たちの集合霊です。

この集合霊の核となっているのは、15年前に事故死した佐伯永子の霊です。彼女は発見されずに残されたままの自分の遺体を見つけてもらうため、事故現場に霊となって現れていました。しかし、死者である彼女の影響で、死に引き込まれた多くの人が事故を起こして亡くなってしまいます。事故死した者たちの霊は彼女に寄り集まり、そのいくつもの未練と無念によって、生者を死に引き込む恐ろしい悪霊と化しています。

〈旧蟬賀トンネルの集合霊〉は二つの姿を取ります。一つは、白い服を着た長い黒髪の女の姿です。この姿は佐伯永子の生前の姿ですが、俯き垂れ下がった長い前髪で顔はよく見えません。もう一つは、何十人もの恐怖に顔を歪めたおぼろげな人影が混ざり合ったような霊の塊です。その塊の中からは、幾人もの人影が助けを求めるかのように呻き声や悲鳴を上げながら手を伸ばして這い出して来ては、同じように奥から現れる別の人影に飲み込まれるように消えていくのが絶えず繰り返されています。

《旧蝉賀トンネルの集合霊》の《正体》は以下の通りです。

《魂喰らい》× 1

シーン：判明 コスト：「4・4」 対象：1

効果：対象は[判定ダイス]－[《魂喰らい》を取得した数+2] d。

《霊体》× 2

シーン：恐怖 コスト：「ゾロ目」 対象：使用者

効果：対象は[恐怖表]の[効果算出]+[《霊体》を取得した数] d。

【事件フェイス】

このシナリオは、PCどうしが初対面でも知り合いでもかまいません。

「日常」の数日後の週末、PCたちは2週間前に交通事故で入院した友人の今井颯介のお見舞いのため、X県の山間の町にある蝉賀救急病院を訪れます。PCが年齢や設定的に颯介の友人であることが難しいならば、高校生である妹の唯花の友人や、颯介の両親の知り合いでもかまいません。また、[大切な人]が颯介や唯花の友人で、お見舞いの付き添いで病院を訪れたということでもかまいません。

颯介は事故で意識不明の重体となっており、蝉賀救急病院のICU（集中治療室）で治療を受けています。颯介の容態は事前に聞いており、面会できないことは知っていましたが、家族を励ますためにもお見舞いに訪れます。

蝉賀救急病院はX県の山間の市にあり、PCの住む街からはやや距離があります。PCたちは週末に車か電車で向かうことになります。PCたちが知り合いではない場合、偶然に病院で一緒になります。病院を訪れるのは、夕方までまだ間がある午後の時間です。

病院を訪れたPCたちは、颯介の父親と妹の唯花に迎えられます。颯介の容態は予断を許さず自宅近くに転院ができません。そのため母親は近くのホテルに部屋を借りて宿泊していますが、父親と唯花はそれぞれ仕事や学校があるために自宅に残っており、週末に病院を訪れて颯介に付き添っています。蝉賀救急病院では患者の家族以外はICUに入室できません。PCたちは廊下のガラス越しに颯介を見舞うことになります。唯花だけがICUに入室し、父親はPCたちと廊下に残ります。颯介は人工呼吸器を付けられてベッドで眠っており、唯花が眠ったままの颯介に、PCたちがお見舞いに来てくれたことを告げる様子が見えます。そんな中、颯介の父親が事故のことを説明します。

2週間前の週末、颯介は恋人の倉橋恵と一緒に車でX県に日帰り旅行に出かけました。その夜、颯介の運転する車が、旧蝉賀トンネルの東側出口付近の急カーブで、ガードレールを突き破って十数メートルの崖下に転落しました。この事故で、運転していた颯介は意識不明の重体となる大ケガを負い、助手席に乗っていた恵は全身を強く打って搬送先の病院で死亡が確認されました。颯介は入院して2週間が経っても意識が回復していません。現在警察が事故の調査をしており、車のドライブレコーダーを調べています。

事故の話が終わったタイミングで、ICUの中の唯花がこちらに顔を向けます。その瞬間、唯花の表情が恐怖でこわばるのがわかります。視線はPCたちの隣に向けられています。こちらに視線を向けると、PCたちから少し離れた廊下に、いつの間にか白い服を着た長い黒髪の女が立っており、ガラス越しに颯介をじっと見つめています。なぜかその女の周囲だけが薄暗く、表情は長い前髪に隠れて見えませんが、颯介を見ていることだけは直観できます。白い服の女は、PCたちが気付くと反対側に向き直り、その瞬間ふっと姿が消えてしまいます。颯介の父親は白い服の女存在に気付かず、PCたちに指摘されてもその姿が見えません。

お見舞いを終える頃には夕方になっています。病院を出ようとするPCたちを、追ってきた唯花が引きとめます。唯花は、PCたちに先ほど廊下で白い服の女を見なかったかと尋ねます。見たと答えると、唯花はあの白い服の女が入院している兄のもとに何度も現れることを話します。唯花は、あの白い服の女は事故で死んだ兄の恋人の恵で、兄をあの世に連れていこうとしているのではないかと心配しています。唯花は普段から霊感があるわけではなく、両親には白い服の女が見えていないため、それが霊かどうかもわからず途方にくれています。

PCたちが唯花にどう答えてもかまいません。相談が終わった頃には日は暮れてあたりは薄暗くなっています。PCたちが帰ろうとすると、まず、最寄駅を通る電車が機械のトラブルで運転を見合わせていることがわかります。運転再開のめどは立っておらず、数時間はかかる模様です。続いて、PCたちが複数の車で訪れている場合は、最も[幸運]が低いPC1人以外の車がエンジントラブルで動かなくなります。ロードサービスなどと呼んで見てもらっても故障の原因はわかりません。いずれにしても、GMはPC全員が1台の車に同乗するように誘導してください。PCが誰も車で来ていないのなら、颯介の父親がタクシーを手配して、PCたちを電車が利用できる駅まで送ってくれます。PCが[大切な人]と一緒に来ている場合など、車1台に乗り切れない場合は複数台でもかまいません。

車に乗ったPCたちは、このあたりの道路に不慣れであり、カーナビのルート案内を使用することになります。車にカーナビがない場合は、PCの誰かが地図アプリのルート案内機能を使用することにしてください。PCたちがタクシーに乗っている場合は、運転手は道路が混んでいるようなので抜け道を使いますと断ってカーナビのルート案内を使用します。ルート案内に従って車を走らせると、やがて山中の国道へと入ります。道幅は狭く、右側には山の斜面が、左側にはガードレールとその向こうに崖が広がっています。周囲には民家はおろか街路灯もなく、車は真っ暗な道を進んでいきます。対向車も後続車も走ってくる気配はありません。

しばらく進むと、道路脇に「旧蝉賀トンネル」という標識が現れ、闇の中にぽっかりと口を開ける昏いトンネルが見えてきます。トンネルの天井には白っぽい照明が点々と灯されていますが、明りは十分とは言えず、かえって闇の中に薄暗く浮かび上がるトンネルを気味悪く感じさせます。車がトンネルに入る直前、PC全員はトンネルの入り口脇に白い服を着た長い黒髪の女が立っているのを目撃します。振り返ってみても、トンネルの入り口の陰になっているのか女の姿は見え

ません。

そこで突然、PCの利き手の甲に刺さされたような痛みと共に「呪印」が刻まれます。手の甲の一部が毒虫に刺されたかのように腫れあがり、やがて腫れは青い勾玉形へと変化します。PCがまだ〈呪印者〉でない場合、〈呪印感染〉を知らせるメールがスマートフォンに届きます。メールの内容を確認したなら、ルールブックにある「呪印感染って、知ってる?」の内容を読み上げてください。その後、PCに「呪印」が刻まれます。

トンネルは緩やかに曲がっていますがそれほど長さはなく、すぐに反対側の出口が見えてきます。出口の先はすぐに右カーブになっており、「急カーブ危険!」という黄色い標識と白いガードレールが、ヘッドライトに照らされて浮かび上がるように見えます。

そこで突然、カーナビからポーンという効果音が鳴り響き、「この先、直進です」という音声案内が流れます。その直後、車を運転しているPC（タクシーを利用中なら運転手）は車に異常を感じます。車のハンドルが動かなくなり、ブレーキも効きません。車はそのままスピードを落とさずに真っすぐにガードレールへと向かって行きます。車がトンネルを出る直前、車の前に白い服を着た女が突然現れます。車が女とぶつかったと思った瞬間、急に車の動作が正常に戻り、急ブレーキとハンドル操作でガードレールにぶつかる寸前で車を止めることができます。ガードレールの先は深い崖になっており、暗い山林が広がっています。そんな中、カーナビから「目的地周辺です。案内を終了します」という音声案内が流れてルート案内が終了します。もし、PCが「呪印」が刻まれた直後、すぐに車を止めようとした場合、そのタイミングで車が運転操作を無視して勝手にトンネルを進み始めます。

その後は車に異常が発生することはなく、PCたちは無事に帰宅できます。エンジントラブルで病院に置いてきた車も翌日には正常に戻っています。PCたちがどのような反応をするにせよ、ここで「導入」を終了させます。

解決フェイズ

このシナリオでは、「解決フェイズ」中の状況に応じて、次のシーンが発生します。

【シーン：GM】／【ドライブレコーダー】の【情報】の直後
 [キーワード：ドライブレコーダー]を【調査】後に、続けて【シーン：GM】を発生させて演出します。

唯花は、ドライブレコーダーの映像は家族の誰も怖くて見ていないが、もし手がかりになるならPCたちに見てもらいたいといってSDカードを手渡します。

ドライブレコーダーには、事故当日の朝からの映像が記録されています。映像は車両の前方のみで車内や後方のものではありませんが、車内の会話などの音声は記録されています。夕方までの映像では、颯介と恵がX県内の観光地などを回り楽しくデートしている様子が会話などから窺えます。

映像はやがて夜になり、音声から颯介が帰宅ルートをカーナビで設定しているのがわかります。ルート案内に従いしばらく走ると、車は山中の国道へと入ります。映像から、PCたちには旧蟬賀トンネルへと続く国道であることがわかります。

しばらくすると、道路脇に「旧蟬賀トンネル」という標識が現れ、闇の中にぽっかりと口を開ける昏いトンネルが見えてきます。トンネルに入る直前、入り口脇に白い服を着た長い黒髪の女が立っているのが映っています。続いて、「さっき、白い服を着た女の人がいなかった?」という恵の怯えたような声と、「え? ごめん、気付かなかった」という颯介の会話が聞こえます。車はそのまま薄暗いトンネルを進み、反対側の出口が見えてきます。出口の先はすぐに右カーブになっており、「急カーブ危険!」という黄色い標識と白いガードレールが、ヘッドライトに照らされて浮かび上がるように見えます。そこで突然、ポーンという効果音が鳴り、「この先、直進です」という音声案内が流れます。その直後、颯介の「ハンドルが動かない」と「ブレーキが効かない」という内容の慌てた声が聞こえます。前方に白いガードレールがどんどんと迫り、颯介と恵の悲鳴のような叫び声が響く中、「直進です」という音声案内が流れます。大きな衝突音が響き、映像は大きく乱れて真っ暗になります。その中で「目的地に到着しました」という音声案内が流れ、映像は途切れます。

GMは【物語展開シート】E-5マスに【キーワード：白い服の女】を追加してください。

【シーン：GM】／【真相②】の【情報】を【調査】した
 [キーワード：真相②]の【情報】へ【調査】を宣言したら、即座に【シーン：GM】を発生させて演出します。

解決手段を探しているPCが、ふと視線を移すと、ガラスに映った自分の背後に、白い服の女の姿があるのに気がきます。PCが振り向くと、すぐそこに白い服を着た長い黒髪の女が立っています。女は俯き、顔は長い前髪に隠れてよく見えませんが、不思議と恐ろしいとは思いません。PCが何か言葉をかけるか近づこうとすると、女は「見つけて……旧、蟬賀、トンネル……彼女を、見つけて……」とか細い声でそう言って姿を消します。

この白い服の女は、倉橋恵の霊です。そのことをPCに伝える必要はありませんが、恵の写真と似ていたかや、ドライブレコーダーの恵と声が似ていたかと問われたら、似ている気がするかと答えてかまいません。

【シーン：GM】／クライマックス

PCが★【決戦】か、★【機械操作】の【判定】を宣言した直後、即座に【シーン：GM】を発生させて演出します。

旧蟬賀トンネルはバスのルートから外れており、市街地から距離もあるため、移動には車を利用することになります。PCたちが近くまで車で移動して旧蟬賀トンネルまで歩くとした場合、PCたちが車を止めようとする前に、カーナビが勝手にルート案内を始め、車は運転手の操作を無視して旧蟬賀トンネルに向かって走行を始めます。トンネルを迂回して逆側からトンネルの東側の急カーブへ向かったとしても、車は運転手の操作を無視して勝手にルートを変更します。タクシーを利用した場合も同様です。描写は、PCの1人が、PC全員が乗った車を運転していることを想定しているため、状況に応じて描写を変更してください。

描写

車に乗り旧蝉賀トンネルへと向かう。
トンネルまであと少しというところで、カーナビが勝手にルート案内を始めた。
道路を走っていくと、程なくして道路脇に「旧蝉賀トンネル」という標識が現れる。
その先に、ぽっかりと口を開ける昏いトンネルが見えた。
ポーンという効果音に続き、「トンネルを直進です」という音声案内が流れる。
車が勝手に速度を上げ始めた。
ハンドルは誰かに押さえつけられているように動かず、ブレーキペダルは踏み込んでもスピードが落ちない。
車はまるで引き寄せられるように、猛スピードでトンネルの中へと入って行く。
すぐに、緩やかに曲がったトンネルの出口の先に、「急カーブ危険!」という黄色い標識と白いガードレールが見えた。
ポーンという効果音に続き、「この先、直進です」という音声案内が流れる。
ポーン♪、「この先、直進です」
ポーン♪、「この先、直進です」
立て続けに音声案内が繰り返され、徐々に音声の音が低く不気味なものへと変わっていく。
ポーン♪、「こおのさあきい……ちいよくしいんでえええす……!」
前方に迫る白いガードレールの前に、いつの間にか白い服を着た長い黒髪の女が立っているのが見えた。
突如、カーステレオからノイズが響き、誰かの声が聞えた。
小さくかすかなその声は、徐々に大きくなり、何人もの男女の低く呻くような不気味な声へと変わる。
「……い……こい……お前たちも、こっちに来おおい……!」
声と同時に、目の前の白い服の女の姿が歪み、まるで内側から粘性の液体が湧き出すかのように、恐怖に顔を歪めたおぼろげな姿の人影が無数に溢れ出てきた。
それは、ここで事故死して地縛霊となったのだろうか何十人もの霊の塊——集合霊だった。
その塊の中からは、幾人ものおぼろげな人影が助けを求めるかのように呻き声や悲鳴を上げながら手を伸ばして這い出てきては、同じように奥から現れる別の人影に飲み込まれるように消えていき、それが絶えず繰り返されている。

★[決戦]の[判定]が宣言された場合、以降は[シーン:判明]では★[決戦]の[判定]しか行なえなくなります。
[シーン:邂逅]では表は振らずに、「場所」は「車内」となり、[知己表]は[12:「方法はあるはずだ」]を使用します。さらに、PCが「事故死した恋人」の[情報]を得ている場合、即座に[特殊イベント]が発生し、PC全員は[希望]+3されます。
★[機械操作]への[判定]が宣言された場合、GMは続けて次の描写を読み上げてください。

描写

車が霊の塊に飲み込まれようとした瞬間、車の前に突然、白い服を着た女が現れる。
車がその女とぶつかったと思った瞬間、急に車の動作が正

常に戻った。
慌ててハンドルを切り、ブレーキを踏み込む。
耳障りなブレーキの作動音と悲鳴のようなスキル音が響き、車は急カーブの先の路上に停車した。
車外に視線を向けると、少し離れた路上に白い服を着た女が立っている。
白い服の女は、ずっと片手を上げると、ガードレール先の崖下の方を指差した。
その指し示す先に、見つけてと言っていた「彼女」がいるのだろうか……?

以降は[シーン:邂逅]では表は振らずに、「場所」は「山中」となり、[知己表]は[8:「推理」]を使用します。さらに、PCが[キーワード:15年前の事故]の[情報]を得ている場合、★[機械操作]を[命運]-20します。

キーワード

本シナリオのキーワードは次の通りとなります。

- B-2: 旧蝉賀トンネル
- B-5: 事故死した恋人
- E-2: 15年前の事故
- D-4: ドライブレコーダー
- E-5: 白い服の女 (追加キーワード)
- F-6: 真相①
- A-6: 真相② (追加キーワード)

キーワードの情報

B-2 情報: 旧蝉賀トンネル

X県の蝉賀峠にある旧道のトンネル。現在は少し離れた新道に新蝉賀トンネルが開通しており、通行する車はほとんどない。トンネルの東側出口付近の急カーブは、以前から魔のカーブと呼ばれ交通事故が多い場所だったが、15年前に起こった死亡事故の後からは、死んだ女の幽霊が現れると噂されるようになり、地元では有名な心霊スポットとなっている。

交通量が減ったにもかかわらず、現在でも年に数件の死亡事故が発生しており、死んだ女の幽霊が通る車を事故に遭わせ、乗っている者を死者の世界に引き込んでいるのだと噂されている。

B-5 情報: 事故死した恋人

倉橋恵は今井颯介と同じ高校の出身で、半年前から颯介と交際していた。長い黒髪の落ち着いた雰囲気的女性で、好んでいつも白い服を着ていたらしい。2週間前、颯介の運転する車に同乗していて交通事故で亡くなっている。PCたちは、恵の写真画像を入手できる。

警察の調査では、恵は事故で即死だったという。ただ、救急車の現場到着が早かったため、颯介とは別の救急病院に搬送され、そこで死亡が確認された。

交通量がほとんどない現場で救急車が迅速に駆けつけることができたのは、事故直後に119番通報があったため、そ

の通報は恵のスマートフォンから発信されていた。応答した署員の証言では、通報者はか細い女性の声だったという。

消防本部では通報の会話を録音しているが、なぜかその通報は署員が応答する音声のみで通報者の声は録音されていなかった。また、恵のスマートフォンは助手席の足元にあったショルダーバッグの中に入っていたが、通報した履歴は残っていた。

PCが[キーワード: 白い服の女]の[情報]を得ている場合、[物語展開シート] A-6マスに[キーワード: 真相②]を追加する。

E-2 情報: 15年前の事故

15年前、旧蟬賀トンネルの東側出口付近の急カーブで2台の車が交通事故を起こした。走行していたトラックの運転手がハンドル操作を誤って対向の乗用車の側面に接触した。その弾みで乗用車は道路脇のガードレールに衝突し、そのままガードレールを突き破って崖下に転落した。この事故で、乗用車を運転していた男性が亡くなった。この乗用車には助手席に同乗者がいたとみられているが、事故の衝撃で車外に放り出されたらしく、転落した崖下の捜索が行われたがそれらしき人物は発見されなかった。乗用車は旧車とよばれる50年以上も前に製造された古い車種で、エアバッグは搭載されておらず、助手席のシートベルトは締められていたが不具合が生じており、事故の衝撃で破損していた。

その後の捜査で、乗用車の助手席に乗っていたのは、運転手の男性と交際していた佐伯永子という22歳の女性だということが判明した。彼女は現在も発見されておらず、法律上は死亡認定がされている。

D-4 情報: ドライブレコーダー

今井唯花から、警察からドライブレコーダーが返却されたという連絡があった。

唯花の話では、事故現場にはブレーキ痕が残されており、ドライブレコーダーに記録された映像には事故の直前に颯介が車両の不具合を訴える音声が残されていたことから、警察は車両の故障が事故の原因だと推測していた。しかし、調査の結果、事故を起こした車両にはブレーキなどに故障の形跡は見られなかったという。ただ、車両は事故の衝撃で大破しており、調査で判明しなかった不具合が車両に発生していた可能性もあり、警察は今回の事故の原因は車両故障であると判断したという。

この[情報]を確認後、[シーン: GM]が発生する。

E-5 情報: 白い服の女 (追加キーワード)

ドライブレコーダーに映っていた白い服を着た長い黒髪の女の画像を今井唯花に確認してもらうと、病院で何度も颯介のもとに現れる白い服の女に似ているという。PCたちも断言はできないが、病院で目撃した白い服の女に似ていると感ずる。

旧蟬賀トンネルに出るといふ女の幽霊の噂は15年程前からあり、倉橋恵も事故で亡くなる前に白い服の女の姿を目撃していることから、おそらく病院に現れる白い服の女の正体は恵ではないだろう。

だとすると、旧蟬賀トンネルに出るといふ女の幽霊が、事故で殺し損ねた颯介を死者の世界に連れて行こうとして現れているのだろうか？

PCが[キーワード: 事故死した恋人]の[情報]を得ている場合、[物語展開シート] A-6マスに[キーワード: 真相②]を追加する。

F-6 情報: 真相①

このままでは遠くから今井颯介は白い服の女の幽霊に取り殺されてしまうだろう。そして、その次は自分たちの番だ。死の運命から逃れるためには、白い服の女の幽霊をどうにかするしかない。

寺社の御札、数珠、塩、御神酒、十字架……ととりあえず幽霊や怪異などに効果がありそうなものは準備した。なんとしても白い服の女を撃退しなければ……！

[特殊イベント]: ★ [決戦] に [判定] 可能

A-6 情報: 真相② (追加キーワード)

白い服の女が口にした「彼女を見つけて」という言葉。その「彼女」を見つければ、今井颯介を助け、自分たちにふりかかっている[呪印]の災いを退けることができるのだろうか……？

どちらにしろ、他に手立てがない今はそれに賭けてみるしかないだろう。

もうあまり時間もない。準備を整えて旧蟬賀トンネルに向かおう……！

[特殊イベント]: ★ [機械操作] に [判定] 可能

結末フェイズ

★[決戦]を[クリア]すると、〈旧蟬賀トンネルの集合霊〉は無数の叫び声を上げながら消えていきます。PCたちが乗る車は正常に戻り、ガードレールに突っ込む直前でそれを避けて無事に停車させることができます。

それから程なくして、唯花から兄が意識を取り戻したと連絡があります。数日後、PCたちは颯介のお見舞いに蟬賀救急病院を訪れます。颯介はお見舞いを感謝し、意識を失っている間、夢を見ていたことを話します。その夢には知らない白い服の女が出てきて、何度も自分を真っ暗な闇の方へと連れていこうとするが、そのたびに恵が現れて自分の手を取り、止められたのだと言います。颯介は恵が事故で亡くなったことを聞いており、恵が助けてくれたのかもしれないと寂しそうに言います。PCたちが[キーワード: 事故死した恋人]の[情報]を得ていた場合、颯介は意識を取り戻す直前に夢に恵が現れて、さようならと別れを告げられ、PCたちに「ありがとうございました」と伝えてほしいと言われたと話します。

いずれにせよ、PCたちも颯介も〈旧蟬賀トンネルの集合霊〉からは解放されますが、〈旧蟬賀トンネルの集合霊〉は撃退されただけで、旧蟬賀トンネルの急カーブに縛られ続けています。これ以後もここでは交通死亡事故が多発し、心霊スポットとして語られていくことになります。

★[機械操作]を[クリア]すると、旧蟬賀トンネル出口の

急カーブ脇の崖下から少し離れた高い木の下で、ぼろぼろの白い服を着た白骨死体を発見します。その白骨死体の下には、朽ちかけた大きな枝が落ちています。そこに白い服の女——佐伯永子の姿をした〈旧蝉賀トンネルの集合霊〉が現れます。白骨死体が着ている白い服はぼろぼろで変色もしていますが、佐伯永子が着ている白い服と同じものだとわかります。佐伯永子の姿をした〈蝉賀トンネルの集合霊〉は、PCたちに深々と頭を下げると、その姿から、ほどけるように無数の霊が出てきては、空に昇るようにして消えていきます。最後に残った佐伯永子の霊は、PCたちに「ありがとう」と言って穏やかな表情で消えていきます。

それから程なくして、唯花から兄が意識を取り戻したと連絡があります。数日後、PCたちは颯介のお見舞いに蝉賀救急病院を訪れます。颯介はお見舞いを感謝し、意識を失っている間、夢を見ていたことを話します。その夢には知らない白い服の女が出てきて、何度も自分を真っ暗な闇の方へと連れていこうとするが、そのたびに恵が現れて自分の手を取り、止められたのだと言います。颯介は恵が事故で亡くなったことを聞いており、恵が助けてくれたのかもしれないと寂しそうに言います。颯介は最後に、意識を取り戻す直前に夢に恵が現れて、さようならと別れを告げられ、PCたちに「ありがとうございました」と伝えてほしいと言われたと話します。

また、後日に警察からPCたちに連絡があり、発見した白骨死体の身元が、15年前に交通事故で行方不明となっていた佐伯永子だと判明したと知らされます。警察は、佐伯永子は事故の衝撃で即死し、車外に放り出されて運悪く高い木の枝に引っかかったために捜索隊が発見できなかったのだろうと

いうこと。その後、何らかの原因で引っかかっていた枝が折れて遺体が落下したことで、遺体があの場所で発見されたのだろうという捜査結果をおしえてくれます。

それ以後、旧蝉賀トンネルの急カーブでは以前のように事故が起こることはなくなります。トンネルに現れる白い服の女の噂もなくなり、心霊スポットとして話題に上ることもなくなっていきます。

いずれの[真相]の結末にせよ、【命運】が0以上のPCは[呪印]が鮮やかな黒へと変色します。また【命運】が-1以下のPCは、[呪印]が禍々しい赤へと変色していることに気づきます。GMはPCの[エンディング]を演出してください。その後、GMは【命運】が-1以下のPCに[終焉表]を適用してください。

[制限時間]内に[★イベント]を[クリア]できなかった場合、PCたちは自らの[呪印]が禍々しい赤へと変色していることに気づきます。それから少しして、颯介の父親から、颯介が病院で息を引き取ったと連絡があります。その後、PCたちはそう遠くない間に、立て続けに交通事故に遭って死亡します。PCたちが★[決戦]への[判定]を行っていた場合、PCたちの乗った車は事故を起こしてガードレールを突き破って崖下に転落し、PCたちは即死します。そして、霊となったPCたちは〈旧蝉賀トンネルの集合霊〉に取り込まれます。

F-6 ●【関係性】	F-5 ○【関係性】	F-4 ○【関係性】	F-3 ○【関係性】	F-2 ○【関係性】	F-1 ○【関係性】
真相① イベント12 ★[決戦]					
E-6 ○【関係性】	E-5 ○【関係性】	E-4 ○【関係性】	E-3 ○【関係性】	E-2 ○【関係性】	E-1 ○【関係性】
白い服の女 (追加キーワード)			15年前の事故		
D-6 ○【関係性】	D-5 ○【関係性】	D-4 ○【関係性】	D-3 ○【関係性】	D-2 ○【関係性】	D-1 ○【関係性】
ドライブレコーダー					
C-6 ○【関係性】	C-5 ○【関係性】	C-4 ○【関係性】	C-3 ○【関係性】	C-2 ○【関係性】	C-1 ○【関係性】
B-6 ○【関係性】	B-5 ○【関係性】	B-4 ○【関係性】	B-3 ○【関係性】	B-2 ○【関係性】	B-1 ○【関係性】
事故死した恋人			旧蝉賀トンネル		
A-6 ○【関係性】	A-5 ○【関係性】	A-4 ○【関係性】	A-3 ○【関係性】	A-2 ○【関係性】	A-1 ●【関係性】
真相② (追加キーワード)					事件発生